

京都家庭医療学センターの

3つの総合診療専門研修プログラムと新・家庭医療専門医研修プログラム

●京都家庭医療学センター総合診療専門研修プログラム/京都北部総合診療専門研修プログラム 京都民医連中央病院総合診療専門研修プログラム

総合診療専門研修制度は、3年の研修期間で、主に診療所で行う研修(総診Ⅰ)を6ヶ月以上、病院で行う研修(総診Ⅱ)を6ヶ月以上行い、総診Ⅰ＋総診Ⅱで18ヶ月以上が必要です。へき地研修(6ヶ月以上)が必須ですが、上京診療所を基幹施設とする京都家庭医療学センター総合診療専門研修プログラムでは、京都協立病院をはじめとした京都府内の施設での研修が可能です。他の必須科目は、内科(12ヶ月以上)、小児科(3ヶ月以上)、救急(3ヶ月以上)となります。小児科は京都市立病院小児科、救急は京都民医連中央病院での研修となります。他に総診Ⅱの間にその他の領域研修(緩和ケア、リハビリなど)も研修可能です。*スケジュール例1

上記のプログラムのほかに2つの総合診療専門研修プログラムがあります。京都協立病院(綾部市)を基幹施設とした京都北部総合診療専門研修プログラムは、福知山市民病院、舞鶴共済病院などの連携施設があり、すべての研修を京都北部で行います。*スケジュール例2

3つ目の京都民医連中央病院を基幹施設とするプログラムは、京都家庭医療学センタープログラムと関連施設はほぼ同じですが、病院を中心に活躍されるホスピタリストを目指す方にお勧めです。

●京都家庭医療学センター新・家庭医療専門医プログラム

新・家庭医療専門医制度はサブスペシャリティの領域です。日本プライマリ・ケア連合学会の基準を満たせば、総合診療専門研修の一部を家庭医療専門研修に設定可能で、最短で初期研修終了後4年で取得可能です。同時に世界家庭医機構(WONCA)が設定する世界標準レベルのプライマリ・ケア教育の国際認証を取得できます。*スケジュール例1

*スケジュール例1 京都家庭医療学センター総合診療専門研修＋新・家庭医療専門医研修

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	京都民医連中央病院											
	領域	内科12ヶ月											
	へき地○												
2年目	施設名	京都協立病院						上京診療所					
	領域	総合診療Ⅱ6ヶ月						総合診療専門研修Ⅰ6ヶ月					
	へき地○	○	○	○	○	○	○						
3年目	施設名	京都民医連中央病院			京都市立病院			未定					
	領域	救急			小児科			総診Ⅰ or 総診Ⅱ or 選択研修					
	へき地○												
4年目	施設名	京都民医連あすかい病院											
	領域	家庭医療専門医Ⅰ(新・家庭医療専門医プログラム)											

*スケジュール例2 京都北部総合診療専門研修

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	施設名	福知山市民病院											
	領域	内科12ヶ月											
	へき地○							○	○	○	○	○	○
2年目	施設名	京都協立病院						福知山市民病院					
	領域	総診Ⅱ6ヶ月						救急			小児科		
	へき地○												
3年目	施設名	ふくちやま協立診療所						未定					
	領域	総合診療専門研修Ⅰ						総診Ⅰ or 総診Ⅱ or 選択研修					
	へき地○												